



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2024 08 08

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明（是非ご参加ください）（3階303教室）
10:10~10:35 12:50~13:15
- ◆ 模擬授業（3階303教室）「痛み止めの科学」
10:35~10:50 13:15~13:30
- ◆ 薬育デモンストラーション（3階303教室）
「実際の“薬育”の様子を見てみよう！」 10:50~11:00 13:30~13:40
- ◆ 体験実習（3階318教室）学科説明の前に303教室で、以降の時間は318教室で整理券を配布します。
「軟膏の混合調剤を体験してみよう」
10:40~11:10 / 11:10~11:40 / 13:00~13:30 / 13:30~14:00 /
14:00~14:30 / 14:30~15:00
- ◆ 体験実習（4階436教室 SGDルーム）
「薬剤師の仕事体験（実習）」 10:00~15:00
1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
2) Webシステムを使って、オンライン服薬指導を体験
- ◆ オープンラボ（4階413研究室）
「蛍光を利用した細胞活動の観察」 10:00~15:00
- ◆ 学生交流・進学相談（4階436教室）
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」 10:00~15:00

その他（全学部共通）

- 大学概要・入試制度説明 12:10~12:50 (2階225教室) 14:00~14:40 (2階225教室)
- 面接対策講座 12:50~13:20 (2階225教室) 14:00~14:30 (2階204教室)
- 食堂体験 11:00~15:00 (1階 学生食堂) (ラストオーダー14:00)
- キャンパスツアー（所要時間20~30分） 1階 玄関ホール・出発
10:00~15:00（最終受付14:30）

以下は10:00~15:00

- 個別相談（入学者選抜・奨学制度） 1階 玄関ホール
- 個別相談（就職） 1階 就職支援室
- 学生生活紹介・部活・サークル紹介 5階 アリーナ
- メディアライブラリーセンター（図書館）見学 8階 図書館
- 薬用植物園見学 7階 エレベーター横



模擬授業 10 : 35-10 : 50 13 : 15-13 : 30

303教室 (3階)

痛み止めの科学

人類は古代から痛みを悩まされてきました。痛み止めの歴史を振り返りながら、現在使われている鎮痛薬について解説します。この模擬授業では、鎮痛薬が痛みを和らげる仕組みや痛み止め以外の適応、副作用などの問題点について分かり易く解説しますので、鎮痛薬に対する理解を深めていただけたらと思います。



教授 中谷 良人
膜機能ユニット

東京大学大学院薬学研究科修士課程修了、博士（薬学）。昭和大学薬学部を経て、現在に至る。研究テーマは、「体内で作られる生理活性脂質の産生酵素の解析」。

私たちの身体の健康を保つために働いている物質の中には、脂質から作られるものがあり、痛みや発熱、炎症などの病態にも関係しています。

“薬育”デモンストレーション 実際の“薬育”の様子を見てみよう！

会場・時間

学科説明会場 (3階 303教室)

第1回 10:50～ / 第2回 13:30～

(学科説明、模擬授業の後、10分間で行います。)

- 現在薬剤師は、地域住民の予防や未病に積極的に係る健康サポート役割が求められています。
- “薬育”とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止など健康な身体をつくるための教育活動です。
- 本学では2018年に開始し、2021年からは地域連携部の学生を中心に、継続的に行っています。
- 2年生後期のセミナー科目でも、学生同士で行う“薬育”を取り入れています。
- 実際に学生が行っている様子をご覧ください！



- 担当 薬育・地域連携委員会 地域連携部

体験実習

軟膏の混合調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

10:40～11:10 / 11:10～11:40 / 13:00～13:30
13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～15:00

学科説明の前に整理券を配布します

- 薬剤師は、処方箋に基づく調剤を行う際、錠剤、散剤、水剤、外用剤など様々な剤形を扱います。
- 調剤は、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して包装したり、容器に充填することが必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！



- 担当 薬学臨床教育研究センター
社会薬学教育研究センター

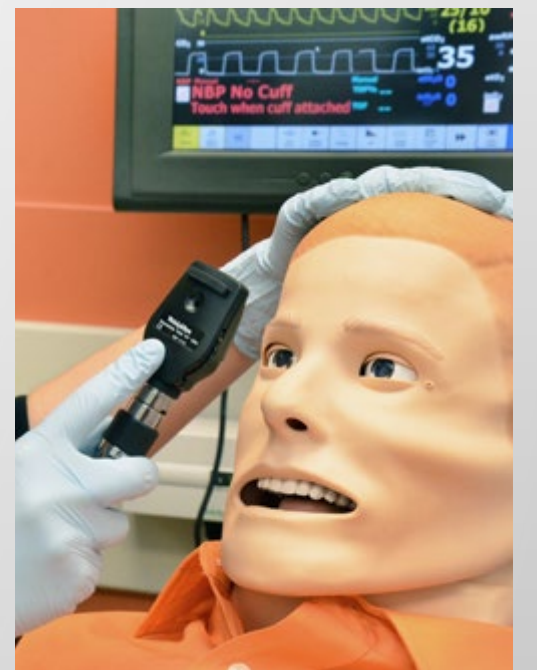
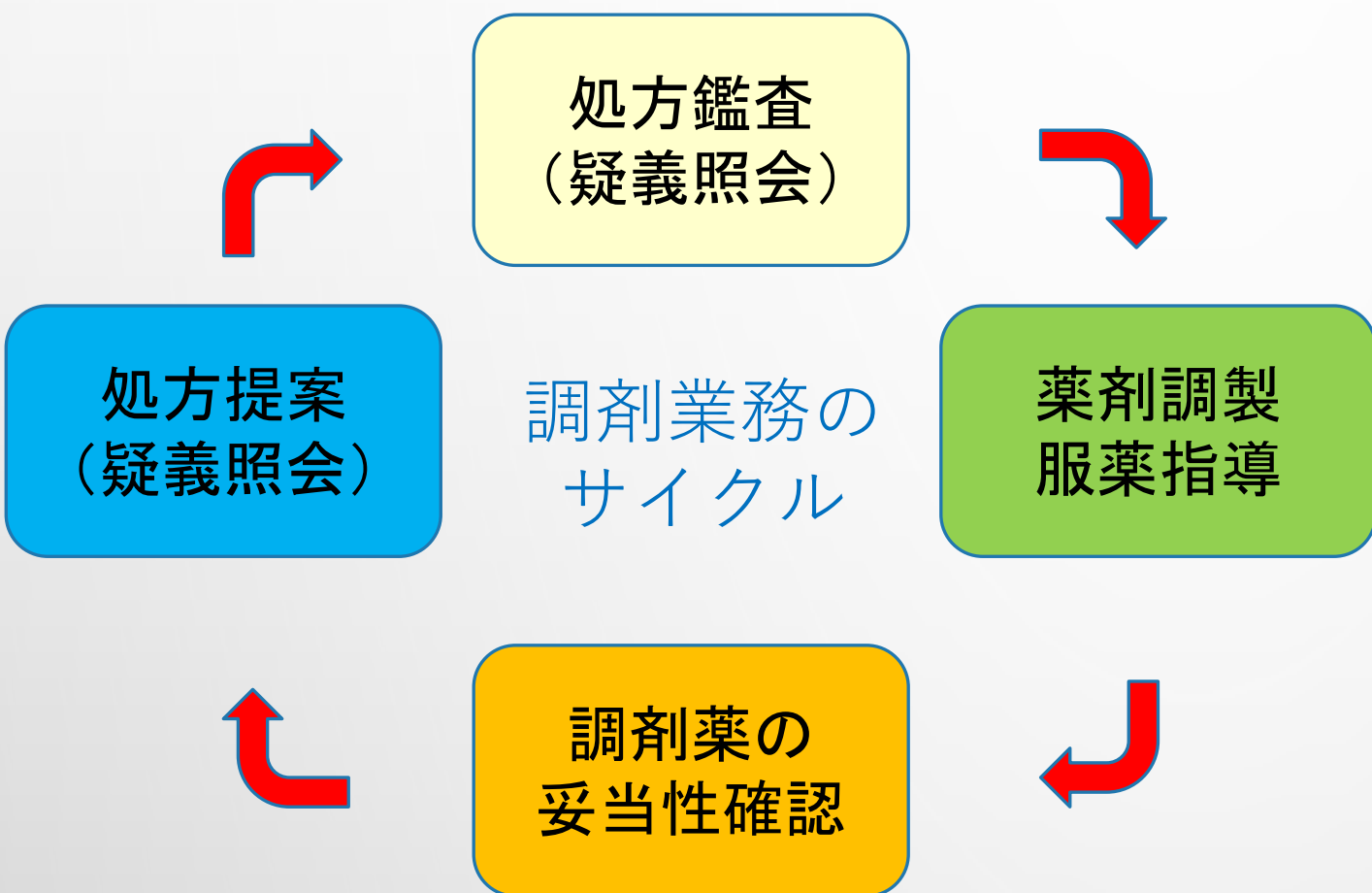


薬剤師の仕事体験（実習）

- 1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
- 2) WEBシステムを使って、オンライン服薬指導を体験

会場：SGDルーム（4階 436）

フィジカルアセスメント体験：薬剤師が視診や聴診、触診などによって患者さんの 全身状態を評価すること、いわゆる「フィジカルアセスメント」を行うことにより、副作用の防止や薬物療法の効果の判定に寄与することが出来ると期待されています。



お薬はちゃんと効いているのか？
副作用は出ていないか？

薬剤師に求められる新たな技術

薬剤師からの聞き取り
患者さん自身の訴え
患者さんの外観
臨床検査の値



皮膚の状態、むくみ、脈拍
呼吸の音
心臓の音
お腹の音

基本的項目

フィジカルアセスメント

オンライン服薬指導体験：感染などの状況があっても薬剤師と患者の信頼関係を常に継続することが可能となります。

外来通院

- ・他科受診
- ・多剤服用
- ・OTCとの併用
- ・サプリメント等の併用
- ・勤務時間との調整 etc.

在宅療養

- ・服用、嚥下困難
- ・一包化、粉碎
- ・管理困難
- ・介護者不在の時間 etc.

担当教員
濃沼政美, 島崎学, 青木一真

オープンラボ

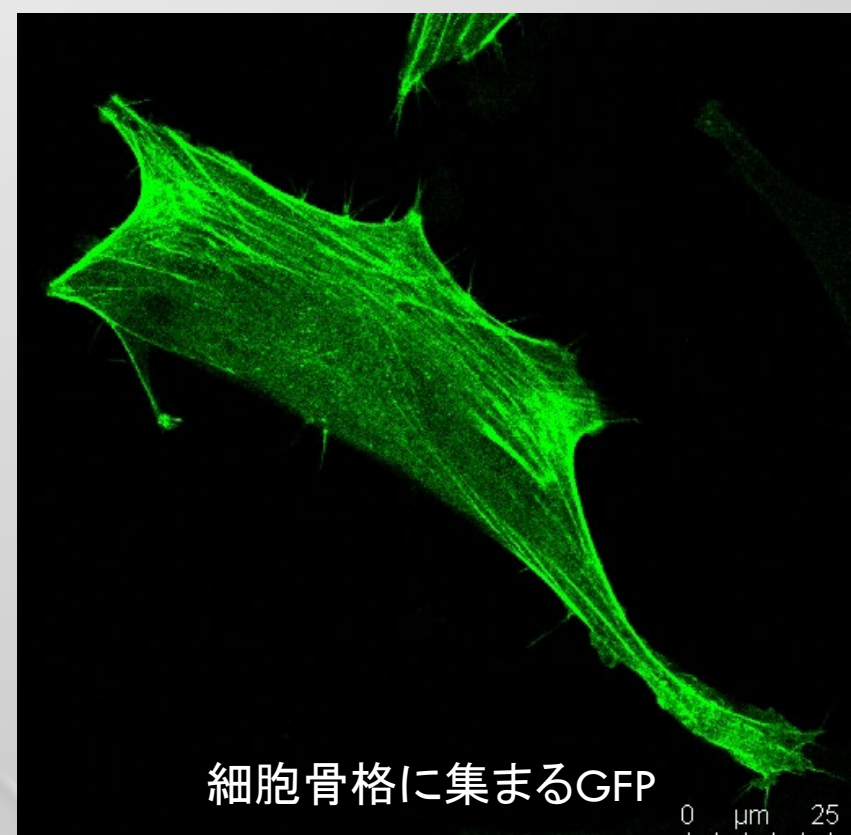
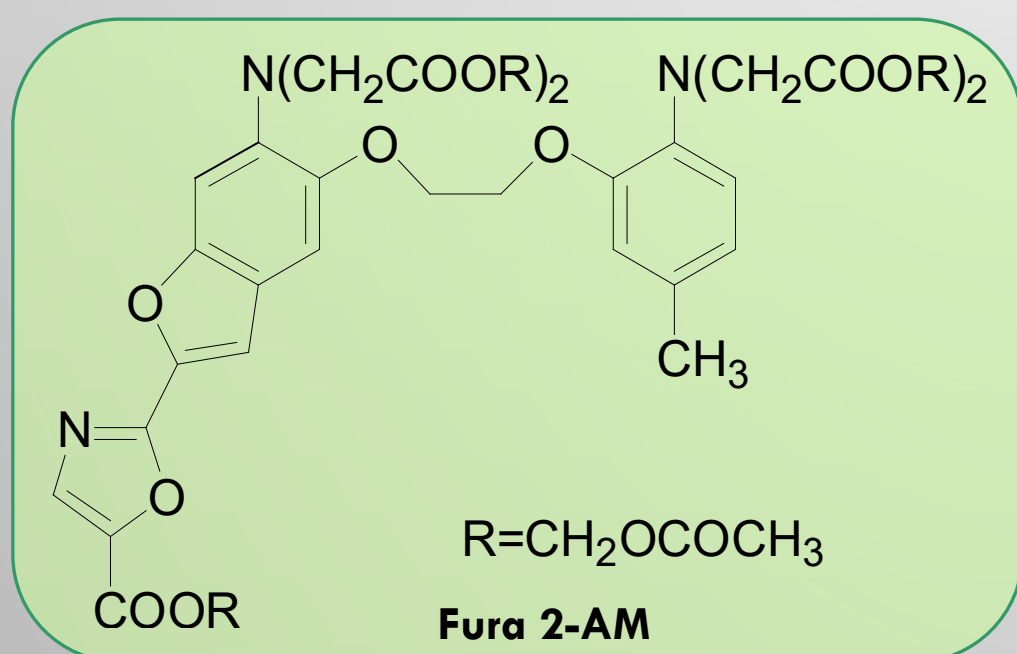
蛍光を利用した細胞活動の観察

会場：413 研究室（4階）

時間：10:00~15:00

ヒトの体は約37兆2000億個の細胞から成り立っているといわれています⁽¹⁾。細胞には骨格筋細胞、血球細胞、神経細胞などの種類があり、それぞれが協調して働くことにより生命活動が維持されています。我々はこれらの細胞活動を**蛍光**を用いてリアルタイムで観察することにより、細胞の機能を解き明かそうとしています。今回のオープンラボでは細胞内のカルシウムイオン濃度を測定する人工有機小分子(Fura 2)と、オワンクラゲの蛍光タンパク質(GFP)が、細胞の中で光る様子を観察して頂こうと思います。

(1) Eva Bianconi et al., *Ann Hum Biol*, 2013; 40(6): 463-47



担当教員

薬理学ユニット 吉田 卓史、戸田 雄大